

十種神宝火継秘神事執行

十種大行之秘儀



大和の光

12月号

《発行所》

大和教団
仙台市青葉区錦町2-4-24
大和教団本庁
電話(代)022-261-2525番
振替仙台02220-3-45512
発行人 大和教団 定価50円



神紋
八咫鏡と太陽を
かたどつたもの
で、國家の隆昌
と世界の共存共
栄を意味してお
ります。

こと言
たま靈
いかに社会が科学が
進歩したとしても、
自然に逆らうことなど
絶対にできない。
(大和神典 第三之二二六言)

本年も余すところ一ヶ月となつた。本年を顧みれば私にとり、また教團にとりても大き事のありし年といえよう。平成三十年九月一日より三度目の一千七日に成満させて頂いた。甚だ長き修行ではあつたが、我が身体への厳しき諭しを受け乍らも深き救いの神事・神術を受け下された。その神威をもつて悩める多くの人をお救いさせて頂いている。大き宝を拝した。御教のより深き高き広き厚きをも悟證するのであつた。しかしながら教師等の信仰生活教育には甚だ遠きものをいまだけ見るものである。されどその種は確実に芽生えるものと信念をもつてゐる。六月二十二日に本教顧問の大泉鉄之助先生が帰幽する訃報が入る。大泉先生のご遺志で家族葬にて葬儀がなされたとのこと。私は七月四日にご靈前に手を合わせさせて頂いた。開祖様を一向にお慕い申し上げての人生であつた。物事の一つひとつに信念をもたれての生涯ではあつた。惜しみても惜しみきれぬ、無念の極みであつた。幽界より開祖様と共に私共を力強くみちびき御守り頂きたいものと謹謝するものである。

七月の大市神山大國神社参詣並出羽三山登拝もコロナ禍ではありしも昨年に引き続き実施させて頂いた。大神様のご守護の下、何事もなく実施させて頂いたことに感謝すばかりであつた。七月二十三日は東京オリンピックも開催。無観客のオリンピックではあつたが、日本だからこそその開催であつたものと私はエールを贈りたい。人は様々にものをいう。菅義偉前総理の決断は後世高く評価される私は確信するものである。

恭

このそのを整備。階段の取り付け工事に入っている。その他の附帯工事が諸々あります。年内には完了したいものと念ぜしも年内には完了したいものと念ぜしている。神御下駄祈願の神威靈験を全津々浦々に広めてゆきたいものと願つてゐる。祈願の神威と心を明るく微笑みの靈威にて温かく包み癒される神庭とで、参拝者の皆をお救いさせて頂きたい。また祖靈殿に第二御靈舎をも設けさせて頂いた。秋季立教例大祭が秋空の下にて盛大に斎行された。二年振りの大幟旗が天石を敷詰める。御社の神庭踏(ゆにわふみ)祈願を為すべく左右狛犬像の後

め御神石と清美す。石斧を神変社廣前右側の狛犬像の脇に移設、斎庭に那智石を敷詰める。御社の神庭踏(ゆにわふみ)祈願を為すべく左右狛犬像の後

に斎行された。二年振りの大幟旗が天石を敷詰める。御社の神庭踏(ゆにわふみ)祈願を為すべく左右狛犬像の後

令和三年十二月一日 謹謝
教主

大和三大行結行

本教三大行の結行となる十種大行が十一月二十日、二十一日の両日に亘り執行された。初日先ず、始奉告祭が斎行され、顯幽参行者が大前に言上された。引き続き、畠山真由美教師により、十種神宝御鏡自拝火繼神事秘詞の拝受がなされ、神々より授かりし尊い祝詞が参行者一人ひとりに授けられた。

記念撮影後、第一座が畠山真由美教師先達にて執行された。只管に十種神宝詞が奉唱されていき、鈴の音



教主様を自由に記念撮影

A wide-angle photograph of a traditional Japanese ceremony taking place in a large, ornate wooden hall. The floor is polished wood, and the ceiling is made of light-colored wooden beams. On the left and right sides, there are rows of wooden benches where spectators are seated. In the center of the room, a group of approximately 20 men wearing white uniforms with black belts and black hats are performing a ritual. They are arranged in two rows, facing each other. In front of them is a long, low wooden table covered with various ceremonial objects, including what look like small shrines or altars. The walls of the hall are also made of wood and feature some decorative elements. The overall atmosphere is one of a formal and solemn traditional event.

祖靈殿にて教主様による結願淨靈執行

明くる二日目、午前三時四十五分に御本殿に集合。参拝の後、田中教師先達による鳥船神事が御本殿広間にて執行され、大きな円となつた奉行者は、満天の星空から大宇大宙の奇毘なる氣息を授かつた。

第三座は熊川知長教師先達のもじ繞りで、祖靈殿において結願淨雪が執り行われ、数多の御靈が尊き供養を受け淨化された。



夜明け前の御本宮広前にて鳥船神事を行修



御鐘自挿火継神事秘詞の講義を行う島山真由美教師

とと共に皆無心で拝み込んだ。今回授かりし御鏡自拝火繼神事秘詞奉称では自身と向き合い、火の尊い深淵なる力を押し奉つた先達の畠山教師の祈りに合わせて、美しい女性の声が聞こえる神祕現象が起きていたという。神社境内各所の清掃行を行じ品川弓教師先達にて第二座を修めた。

次に、御鏡自拝火繼神事秘詞についての講義が畠山真由美教師より行われ、参行者は改めて行の尊さ、奥深さを学んだ。

講義後、田中道敏教師により鳥船神事の習札が行われ、初日の行程を修めた。

本日は、皆さんの関わりのある御靈を淨靈させて頂きました。御靈が生きているということを、皆さんはどうだけ信じているでしようか。ただの知識として、何となく生きているのではないかという思いを持つているだけではないでしょうか。私たちは目には見えない神様、目には見えない存在を信じて信仰をしております。ですから、信仰心がない方々には何も関係はありません。信じられない人と話をすることもありません。信じるからこそ話を致します。

見える神様、御靈の存在を信じられない人は、私からすれば、自分自身を信じられない人がと思っております。自分の生命というものを知らないのです。現在、数え歳というものを五十代の人までも分からなくなつてきております。もう死語かもしれません。誰も教えないから消えていくのです。歳を取る。歳を重ねるということは、一年、三六五日経たないと頂けません。それを私たちのご祖先、神様は下されました。何故で命が宿ります。その母親のお腹の中の生命も一歳としてお与え下されました。それが今は零です。生命ですから見えるとか、見えないとかは関

教主様御親教

祭儀後の結願教座で教主様は、大宇宙の神祕、大和の教義、全人類を救うべくの教えである大和の信仰の根幹を説かれた。

令和4年 厄年表 (数え年)		
大厄42歳 男性の厄年		
前厄	本厄	後厄
24歳 うさぎ 平成 11年(1999)生	25歳 とら 平成 10年(1998)生	26歳 うし 平成 9年(1997)生
41歳 いぬ 昭和 57年(1982)生	42歳 とり 昭和 56年(1981)生	43歳 さる 昭和 55年(1980)生
60歳 うさぎ 昭和 38年(1963)生	61歳 とら 昭和 37年(1962)生	62歳 うし 昭和 36年(1961)生

厄除祈祷隨時受付中

厄歳は人生の節目とされ、長い人生における一つの転換として、心身ともに攝生を重んじ、何事も慎むべき大事な歳とされております。大國神社に参拝してお祓いを受け、厄難消除開運招福をご祈念ください。

して大変な苦労をしてこの世に誕生するわけです。だからそこに大きな喜びがあるのでしよう。皆で御祝をして、そこには人と人との結びの喜びがあります。今は希薄になりました。先日もまた子供さんが虐め

のなのです。それはこの宇宙・天地の御心です。小さな和ではあります。広大無辺の宇宙の和、大和の和なのです。

大厄 33歳 女性の厄年		
前厄	本厄	後厄
18歳 とり 平成 17年(2005)生	19歳 さる 平成 16年(2004)生	20歳 ひつじ 平成 15年(2003)生
32歳 ひつじ 平成 3年(1991)生	33歳 うま 平成 2年(1990)生	34歳 へび 平成元年(1989)生
36歳 うさぎ 昭和 62年(1987)生	37歳 とら 昭和 61年(1986)生	38歳 うし 昭和 60年(1985)生
60歳 うさぎ 昭和 38年(1963)生	61歳 とら 昭和 37年(1962)生	62歳 うし 昭和 36年(1961)生



教主様より御親教を賜る

宙も太陽も地球も、そして自分自身の身体も休みなく働き続けるのです。これが大宇宙の法則です。身体を労わると、ということは、惜しむこととは違います。我々大和の信仰者はこうしたことも勇気を持つてしつかりと話をすべきです。世の中は弱肉強食の世界です。弱いものは殺され、強いものだけが生き残ります。皆さんは生き延びなくてはなりません。そのためには強くなって下さい。大和には強さがござります。善い人、優しい人だけでは駄目なのです。そこに強さが必要なのです。強さを得るために、祈りと

ければただの人な
のです。それらを
実践すると人格が
形成されます。大和の信仰に努力精
進すれば自然に立派な人、尊敬され
る人になります。何故なら、大和の
信仰、祈りと感謝と奉仕の信仰生活
がしっかりと整った時、自らが神身
となるからです。大和は神身成就の
信仰です。神様を、自分自身、現世
に顕して下さい。こうして自ら参行
されている皆さんは、神身の前身で
す。神様にお仕えしたお金は清らか
です。淨財と言います。教え・言葉
は本当に尊い、生きる力・知恵とな
ります。皆さんも意識して使って下
さい。

「和心・感謝・信念・努力・実行」
実行が無ければ生きていかれません
感謝が無くても生きてはいけないの
です。どうか皆さんは信仰の尊さ、
大和の尊さをもつとよく理解して下
さい。そして、それを世の人々に教
えて下さい。それが教師・信仰者の
本当の仕事です。一緒に信仰して、心
をつくります。そういう人が多くな
れば争いも少なくなるでしよう。果
てしない夢です。戦争は無くならな
いかもしれません。理解し合えない
かもしれません。それでも祈り続け
なくてはなりません。それが私たち
大和なのです。

何もせずに何んで下さいでは駄目なのです。自分自身やるべきことをしつかりと教育をして下さい。子供や孫たちには伝え難い、言い辛い何かがあるのでしようか。大和は立派な教えです。目には見えないものも確かに存在しております。靈界もあります。勿論、神界もあります。大和は万物一切に感謝です。皆が幸せになり、弥栄になる教えです。大きな教えを説いております。

地球環境の問題を考えて下さい。汚したのは高々百何十年でしょう。

人が生きている世界・浮かばれていない御靈の世界。この三界の全てを調和しなさいということです。簡単ではありません。ですから、全てを整え、乗り越えた時には世界宗教の王となると神宣を下されたわけです。ここ一番の苦労を覚悟するか。そうした教えですから、楽して幸せになることを求めてはなりません。やるべき事をしつかりやってからこそなのです。救われたい。幸せになりたい。家族も救へたいと思つこな、

改善するには一千年は掛かるでしょうか。神様は良いことも悪いこともあります。大に小に悪いことをしたら十倍を以て償なわねばなりません。幽世の幸せは極まりなしと説きます。裏を返せば幽冥の苦しみも極まりはないのです。この世の苦しみは幽世の苦しみに比べたら何でもありません。そんなもの苦しみでもなんでもありません。同様に樂しみもそういうことです。大和は大宇宙の教えです。ですから、この字

今、一番の奉仕は五人を導くことです。但し、導いて教師に取り次ぐだけでは足りません。自分自身が経験してきた信仰生活を教えてあげて下さい。それで初めて大和の信仰者としてのお働きです。それが出来な

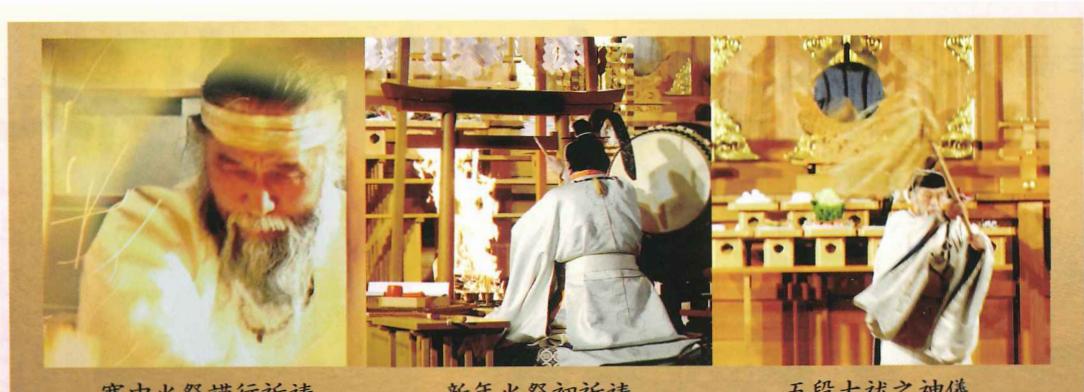
良縁を結願す
神変御下駄神業にて
道ひらきを



年末年始執行

特別祈禱のご案内

年末年始に執行致します特別祈禱を左記の通り
ご案内申し上げます。



寒中火祭謹行祈禱

新年火祭初祈祷

五段大祓之神儀

一年間の罪穢れを祓い清める 五段大祓之神義

十二月二十五日(土)
午前六時

午前六時

新年火祭初祈祷

一月一日（祝）
午前十一時

御祈祷料 一万円

神氣漲る寒中に奇毘なる
靈験をもつて心願諸願成就
を顯現す

寒中特別火祭謹行祈建
二十一日間執行

一月十四日(金)
二月三日
(木)

御祈祷料 施主 二万円
家族 一万円

